



2020年4月27日

2019年度(2020年3月期) 決算説明資料

 株式会社 日立物流

HITACHI
Inspire the Next



I.2019年度(2020年3月期)決算概要

全体概要、グループ別、売上収益・営業利益：増減内訳、
新型コロナウイルス影響、海外地域別、受注・立上状況、協創

II.2020年度計画について

【補足資料について】

IFRS第16号「リース」の適用影響、財政状態、キャッシュ・フロー、
主要財務指標・営業費用、設備投資・人員 他



I .2019年度(2020年3月期) 決算概要



2019年度決算概要 (全体概要)

(単位：億円、端数四捨五入、< >内は利益率(%)、()内は増減差)

	2018年度		2019年度		
	実績	実績	前年比		
			比率	増減	
売上収益	7,088	6,723	95%	-365	
営業利益 ※1	<4.4> 311.9	<5.0> 334.8	107%	22.9	
EBIT (受取利息及び支払利息 調整後税引前当期利益)	<5.1> 361.8	<5.9> 396.1	109%	34.3	
親会社株主に帰属する 当期利益	<3.2> 227.9	<3.2> 216.1	95%	-11.7	
ROE	10.7%	9.5%	-	(-1.2%)	
期末株価	3,285円	2,349円	72%	(-936円)	
一株当たり配当	40円	※2 43円	108%	(+3円)	

※1 本資料中の営業利益は、「調整後営業利益」を記載

※2 5月下旬の取締役会にて決議する予定です。



2019年度決算概要（グループ別）

（単位：億円、端数四捨五入、< >内は構成比(%)、()内は前年差）

		売上収益			営業利益		
		通期	前年比	通期	前年比		
オーガニック	国内物流	<64>	3,729	103%	236.5	122%	
	国際物流	海外	<28>	1,636	92%	59.9	95%
		国内会社計上分(フォワーディング他)	<5>	313	63%	1.5	75%
	計	<33>	1,949	85%	61.4	95%	
	その他(物流周辺事業等)	<3>	183	87%	9.2	46%	
計		<100>	5,861	96%	307.1	110%	
バンテックグループ	国内物流	<68>	648	90%	32.8	94%	
	国際物流	海外	<32>	306	86%	4.4	54%
		国内会社計上分(フォワーディング他)	<0>	0	-	0.0	-
	計	<32>	306	86%	4.4	54%	
計		<100>	954	88%	37.2	86%	
連結消去・バンテック顧客関連資産償却等		-	-92	(+27)	-9.5	-	
合計	国内物流	<65>	4,353	101%	260.6	118%	
	国際物流	海外	<28>	1,910 [93%]	91%	63.5 [94%]	92%
		国内会社計上分(フォワーディング他)	<4>	287 [89%]	61%	1.5 [+3.0]	75%
	計	<33>	2,198 [92%]	86%	65.0 [99%]	91%	
	その他(物流周辺事業等)	<3>	172	85%	9.2	46%	
計		<100>	6,723	95%	334.8	107%	

※【 】内は日新Gr非連結化影響を除いた比率（一部増減差）



2019年度決算概要 (売上収益：増減内訳)

2019年度累計 売上収益実績

(億円)

7,088

環境変化・
物量増減他
▲251

為替影響
▲72

日新運輸
非連結化
影響
▲172

ポートフォリオ
戦略の実行
▲43

新規受注
+160

協創新規
+62

IFRS第16号
適用影響
▲10

新型コロナ
影響
(詳細はP7)
▲40

6,900 ←
計画値
(1.31公表)

6,723

・国内/その他事業 : ▲174億
・フォワーディング/海外事業 : ▲169億
・受託領域拡大 : +92億
<内数>
バンテックGr : 国内▲50億/国際▲30億

18'実績レート→19'実績レート

・USD: ¥111 → ¥109
・EUR: ¥128 → ¥120
・CNY: ¥16.5 → ¥15.6

国内 : +100億
国際 : +60億

■ 1.31公表計画値との差異 : ▲177億

- ・新型コロナによる直接影響 : ▲40億
- ・物量減 (新型コロナ間接影響含む) : ▲137億
(内訳) バンテック▲57、中国・アジア他▲68、
国内フォワーディング▲12

▲365

項目	環境変化・物量増減等			為替 影響	日新運輸 非連結化 影響	ポートフォリオ 戦略実行	新規 受注	協創 新規	IFRS 16号 適用影響	新型コロナ 影響	計
	その他 物量増減他	受託領域 拡大	小計								
国内	-168	75	-93			-17	100	52	-10	-7	25
国際	-169	17	-152	-72	-172	-1	60	8		-32	-361
その他	-6		-6			-25		2		-1	-30
計	-343	92	-251	-72	-172	-43	160	62	-10	-40	-365

2018年度(実績)

2019年度(実績)



2019年度決算概要 (営業利益：増減内訳)

2019年度累計 営業利益実績

(億円)

・国内：+12.1億
・国際：+4.2億

312

新規受注
+16.3

協創新規
+9.5

+25.8

生産性向上
+24.0

+49.8

環境変化・
物量増減他
▲28.1

- ・受託領域拡大 : +5.9億
- ・プライシング : +15.1億
- ・FY18戦略投資戻り : +4.0億
- ・撤退等 : ▲12.4億
- ・作業コスト増 (派遣/パート、DD※等) : ▲17.5億
- ・その他 (パンテックGr. フォワーディング物量減影響等) : ▲23.2億

為替
影響
▲3.6

日新運輸
非連結化
影響
▲5.3

ポートフォリオ
戦略の実行
▲4.4

戦略投資
▲5.2

IFRS第16号
適用影響
+29.8

新型コロナ
影響 (詳細はP7)
▲10.1

340
計画値
(1.31公表)

335

戦略投資額
FY18累計：20億
FY19累計：25.2億
(前年同期差：5.2億増加)

+22.9

■ 1.31公表計画値との差異：▲5億

- ・織り込みリスクの実績差異：▲3億
3Q想定▲11億→実績▲14億
- ・新型コロナ影響：▲10
- ・貸倒引当計上：▲4 (中国、4Q分)
- ・IFRS16号影響：▲2億 (+32→+30)

2018年度(実績)

2019年度(実績)



2019年度決算概要（新型コロナウイルス影響）

（単位：億円）

区分		影響額		内容	
		売上収益	営業利益		
国内	オーガニック	▲ 1	▲ 0.9	・顧客店舗休業に伴う物量減 ・訪日客(インバウンド需要)減少による物量減	
	バンテックグループ	▲ 6	✓ ▲ 2.7	・顧客工場の生産停止などによる物量減 ・中国サプライヤーからの納品遅延による物量減	
	小計	▲ 7	▲ 3.6		
国際	オーガニック	北米	▲ 4	▲ 0.7	・顧客工場生産停止/操業減 ・輸送規制による物量減 ・輸出入貨物の取扱い減少 等
		欧州	▲ 6	▲ 1.4	
		アジア	▲ 2	▲ 0.4	
		中国	✓ ▲ 10	▲ 0.3	
		VHF [※]	▲ 4	▲ 0.9	
	バンテックグループ	▲ 7	✓ ▲ 2.6	・顧客工場の生産停止や輸送規制等による物量減 ・輸出入貨物の取扱い減少 等	
小計	▲ 32	▲ 6.3			
その他	オーガニック	▲ 1	▲ 0.3	・情報システム開発事業における案件期ズレ	
合計 (単純合算値)		▲ 40	▲ 10.1	・上記数値は事業ベースの概算値(IFRS組替(リース含む)影響及び一部の全社費用配分前)	

※株式会社日立物流バンテックフォワーディングの略称表記

上記のほか、「その他費用」に1億円弱、「金融費用」に為替差損として約15億円弱計上

(単位：億円、端数四捨五入、< >内は利益率(%)、()内は増減差)

項目		2018年度		2019年度					
		売上収益	営業利益	売上収益	前年比	計画比	営業利益	前年比	計画比
海外	北米	452	9.9	423	94%	93%	12.6	127%	88%
	欧州※1	694	38.0	660	95%	101%	42.9	113%	110%
	アジア(中国除く)	445	19.2	402	90%	93%	13.9	72%	71%
	中国	513	9.1	416	81%	83%	-1.2	(-10.3)	(-12.3)
	その他	38	3.0	40	106%	-	2.8	92%	-
	連結消去等※2	-53	-10.2	-32	-	-	-7.3	-	-
計		2,089	<3.3%> 69.1	1,910	91%	93%	<3.3%> 63.5	92%	84%

※1. トルコは欧州に含む ※2. バンテック顧客関連資産償却は連結消去等に含む
・計画比は事業ベースの概算値による比較

貸倒引当金：約▲7億円計上(3Q▲3+4Q▲4)

2019年度：受注・立上状況

(単位：件)

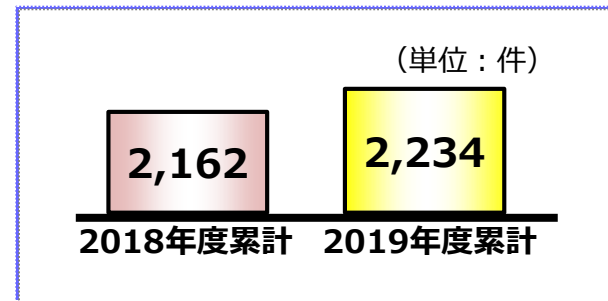
		2018年度	2019年度	
		通 期	通 期	前年増減
受 注	国 内	15	20	5
	国 際	9	6	-3
	計	24	26	2
立 上	国 内	19	23	4
	国 際	9	7	-2
	計	28	30	2

(参考1)2019年度主な立上案件

国内：【半導体製造装置】工場内物流アウトソーシング
 【衣類】顧客構内EC作業運営
 国際：【食品】チルド・ドライ倉庫運営
 【自動車部品】クロスドックセンター運営

(参考2)国内本部受注件数の推移

＜新旧定義・単発案件(重量機工等)・小規模案件含む＞





さらなる協創効果の創出

～2019年度 新規案件 (抜粋)～

2019年4月～



建設機械パーツセンター運営

2019年9月～



PCキitting作業

2019年7月～



化粧品メーカーDC運営

2019年11月～



家電メーカーDC運営

2020年3月～



設備搬入作業(日本→フィリピン)

燃料電池バス輸送

■ 2019年度 新規積上げ分 (単位:億円)

	売上収益	営業利益
国内	52	7.6
国際	8	1.5
その他	2	0.4
協創効果	62	9.5

上記表にはAITとの協創効果を含む



Ⅱ.2020年度計画について

新型コロナウイルス感染症の影響により、現段階において今後の影響を合理的に算定することが困難であることから、2020年度通期計画を未定としておりますが、当社事業計画に大きな影響を及ぼす項目として、現状、以下を認識しております。

第1四半期には前提条件の精査や通期動向の把握が進み、通期計画策定が可能になると想定

【国内事業】

- ☑ 緊急事態宣言の解除・継続を踏まえた、顧客の生産・販売動向
(自動車関連顧客の生産・販売台数(減)計画等)

【国際事業】

- ☑ 各国政策（ロックダウン等）による生産・販売・消費活動の動向
- ☑ 欧米における自動車関連顧客の動向
(現状:生産停止 → 5月より段階的稼働 → 本格稼働は2Qか?)
- ☑ フォワーディング事業における輸送規制・制限及びスペース需給動向
(日本発着は当面厳しい状況が継続)

【推進施策】

- 人財・車両・施設のシェアリング
(グループ・パートナー・同業他社を含めたエコシステム内でのリソース（バンテック他）徹底活用)
- ウィズコロナ・アフターコロナに向けた国内外拠点の再編成（統廃合も含めた拠点配置)



物流は新領域へ
LOGISTEED



【補足資料について】

＜財政状態、キャッシュ・フローの状況 他＞



(単位：億円)

項目		【IFRS16号適用前】 2019年度 通期	影響額	【IFRS16号適用後】 2019年度 通期
総資産	(億円)	6,212	2,580	8,791
親会社株主持分	(億円)	2,338	-10	2,329
売上収益	(億円)	6,733	-10	6,723
営業利益	(億円)	305	30	335
親会社株主に帰属する 当期利益	(億円)	226	-10	216
親会社株主持分 当期利益率 (ROE)	(%)	9.9	-0.4	9.5
総資産利益率 (ROA)	(%)	3.7	-1.3	2.4



(単位：億円)

項目	2018年度	2019年度	
	通 期	通 期	増減額
(資産の部)			
流動資産	2,587	2,674	87
非流動資産	3,539	6,117	2,579
資産の部合計	6,125	8,791	2,666
(負債の部)			
流動負債	1,225	1,678	453
非流動負債	2,611	4,721	2,110
負債の部合計	3,836	6,399	2,563
(資本の部)			
親会社株主持分	2,223	2,329	105
非支配持分	66	64	-2
資本の部合計	2,289	2,393	103
負債・資本の部合計	6,125	8,791	2,666



(単位：億円)

項目	2018年度	2019年度	
	通 期	通 期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	378	782	404
投資活動によるキャッシュ・フロー	-139	-12	127
財務活動によるキャッシュ・フロー	211	-457	-668
現金及び現金同等物に係る換算差額	-1	-7	-6
現金及び現金同等物の増減	449	306	-143
現金及び現金同等物の期首残高	635	1,084	449
現金及び現金同等物の期末残高	1084	1,390	306

主要財務指標等

項目	2018年度	2019年度
親会社株主持分 (○は親会社株主持分比率(%)) (億円)	36.3 2,223	26.5 2,329
1株当たり親会社株主持分 (円)	1,993.25	2,087.52
基本的1株当たり親会社株主に帰属する当期利益 (円)	204.27	193.76
親会社株主持分当期利益率 (ROE) (%)	10.7	9.5
総資産利益率 (ROA) (%)	3.9	2.4
投下資本利益率 (ROIC※) (%)	5.7 -	5.3 5.4
株価資本合計倍率 (PBR) (倍)	1.65	1.13

※上段はIFRS第16号「リース」適用影響除く数値、下段はIFRS第16号「リース」適用影響後及び新基準(NOPATROIC)により算出した数値

主要営業費用

(単位：億円、()内は構成比(%))

項目	2018年度		2019年度			
	通期		通期		前年同期	
					比率	増減
外注費	(50.3)	3,568.7	(45.9)	3,251.8	91%	-316.9
人件費	(23.6)	1,672.8	(22.8)	1,619.5	97%	-53.4
賃借料	(7.7)	546.9	(2.9)	206.7	38%	-340.3
償却費	(2.7)	190.6	(7.5)	528.2	277%	337.6



設備投資

(単位：億円)

項目	2018年度	2019年度
	通 期	通 期
自家投資額※1	177.6	182.5
(参考) 賃借※2	393.1	63.8

※1.固定資産計上ベース ※2.契約年数換算値

人員※1

(単位：人)

項目	2018年度	2019年度
	通 期	通 期
社員	24,139	23,837
パート・派遣社員等※2	22,156	21,491
計	46,295	45,328

※1.持分法適用関連会社人員を除く ※2.シニア社員を含む

参考資料 業態別実績（概算値）

※（ ）内は顧客関連資産償却費を除く （単位：億円）

	2018年度（実績）			2019年度（実績）		
	売上収益	営業利益	営業利益率	売上収益	営業利益	営業利益率
国内	3,662	191.8	5.2% (5.3%)	3,766	228.2	6.1% (6.1%)
海外	812	38.8	4.8% (5.3%)	790	51.2	6.5% (7.0%)
3PL	4,474	230.7	5.2% (5.3%)	4,556	279.5	6.1% (6.2%)
国内	465	3.0	0.7% (1.6%)	285	2.3	0.8% (2.3%)
海外	781	17.6	2.3% (2.8%)	653	-0.2	- (0.5%)
フォワーディング	1,246	20.6	1.7% (2.3%)	938	2.1	0.2% (1.0%)
国内	674	24.1	3.6% (4.9%)	611	22.4	3.7% (5.1%)
海外	481	11.8	2.5% (2.8%)	443	11.9	2.7% (2.9%)
オート	1,156	36.0	3.1% (4.0%)	1,054	34.3	3.3% (4.2%)
その他サービス	212	24.6	11.6% (11.6%)	175	18.9	10.8% (10.8%)
合計	7,088	311.9	4.4%	6,723	334.8	5.0%

※全社費用の配分方法を一部変更。尚、上記実績値は当該変更を反映した数値。



2020年4月27日

2019年度(2020年3月期) 決算説明会

 株式会社 日立物流